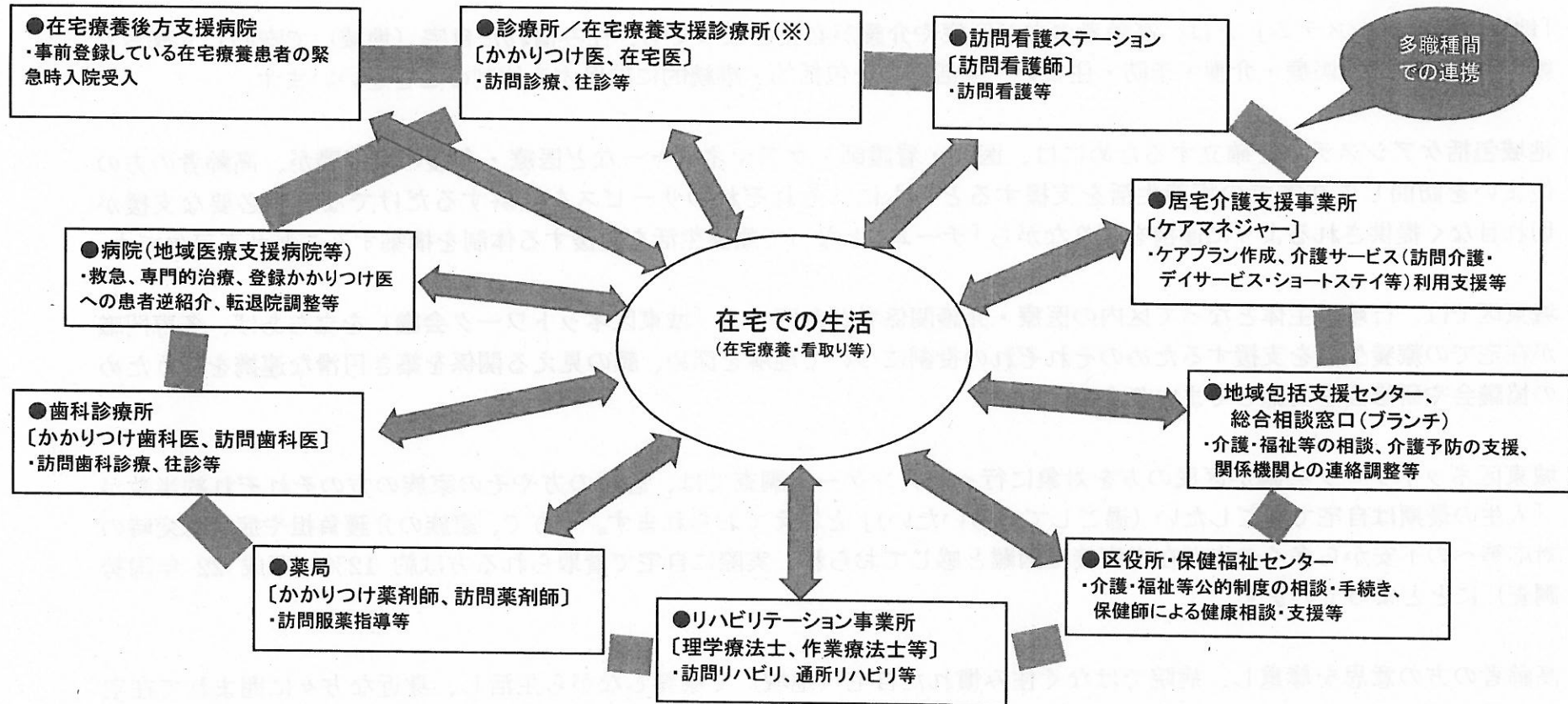


地域包括ケアシステムの充実・推進について

- ・「地域包括ケアシステム」とは、高齢者の方が医療や介護が必要となっても、住み慣れた自宅（地域）で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的・継続的に確保する体制のことをいいます。
- ・地域包括ケアシステムを確立するためには、医師・看護師・ケアマネジャーなど医療・介護の専門職が、高齢者の方の住まいを訪問して在宅での療養生活を支援するとともに、それぞれのサービスを提供するだけでなく、必要な支援が切れ目なく提供されるように連携を図りながら「チーム」となって療養生活を支援する体制を構築することが不可欠です。
- ・城東区では、行政が主体となって区内の医療・介護関係者が参画する「城東区ネットワーク会議」を立ちあげ、各専門職が在宅での療養生活を支援するためのそれぞれの役割について理解を深め、顔の見える関係を築き円滑な連携を行うための協議会や研修会を実施してまいります。
- ・城東区ネットワーク会議が区民の方を対象に行ったアンケート調査では、患者の方やその家族の方のそれぞれ約半数が「人生の最期は自宅で過ごしたい（過ごしてもらいたい）」と答えておられます。一方で、家族の介護負担や症状急変時の対応等への不安から多くの方が在宅療養は困難と感じておられ、実際に自宅で看取られる方は約 12%（平成 22 年国勢調査）にとどまっています。
- ・高齢者の方の意思を尊重し、病院ではなく住み慣れた自宅（地域）で療養しながら生活し、身近な方々に囲まれて在宅での最期を迎えることも選択できるようにするため、区民の皆様には医療・介護の連携により地域で高齢者の方を支援する仕組みづくりについてご理解をいただくことが重要と考えており、意識啓発を目的とした講演会を実施いたします。

【城東区ネットワーク会議】

〔参画団体〕 城東区医師会、城東区歯科医師会、城東区薬剤師会、城東区訪問看護ステーション管理者連絡会、介護支援専門員協会城東支部、済生会野江病院、城東区内各地域包括支援センター、城東区リハビリテーション事業所連絡会、城東区役所



(※)在宅療養支援診療所
...他の医療機関や訪問看護ステーションとの連携等により、24時間365日の往診・訪問看護を行う体制や、緊急時の協力病院との連携体制を確保している診療所

【在宅療養と地域包括ケアシステム】

城東区では、区民の皆様が医療や介護、あるいはその両方が必要となっても、住み慣れた自宅(地域)で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制「地域包括ケアシステム」の確立をめざしています。
医療・介護等の専門職は、それぞれのサービスを提供するだけではなく、関係機関が相互に連携を図りながら「チーム」で区民の皆様の療養生活を支援します。